

いま見える未来は、超えていける。

安田倉庫は、挑戦を続けます。

国境も、従来の物流の枠も超える、ボーダレスなロジスティクスカンパニーへと進化するために。

そして、お客様が思い描く事業と社会の新しいかたちを創造するために。



2021年9月15日 個人投資家向け会社説明会

ご質問への回答

安田倉庫株式会社（東証一部：9324）

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

**2021年9月15日個人投資家向け説明会の
参加者の皆さまからいただきました
主なご質問につきまして回答申し上げます。**

目次

Q1. コロナ禍による影響・対策

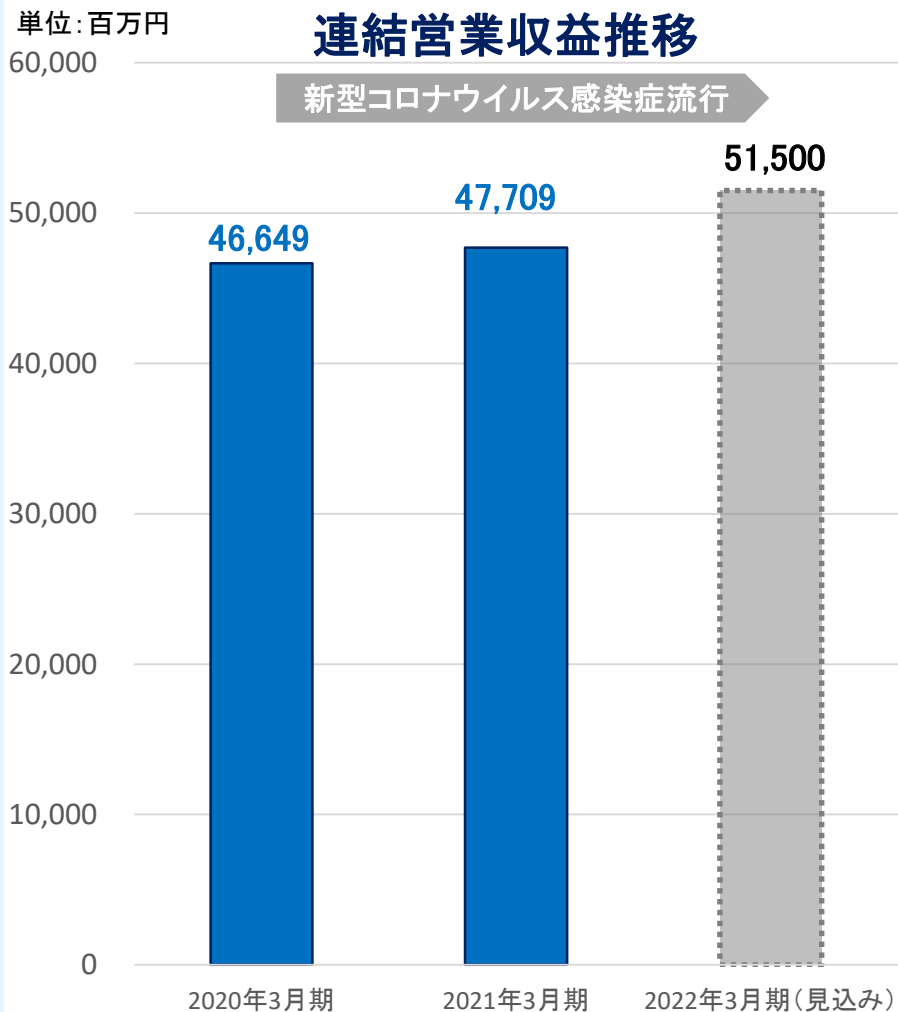
Q2. 新分野への取組み

Q3. DXの取組み

Q4. コスト抑制

Q1. 新型コロナウイルスの業績への影響や、感染症への対策を教えてください。

A. 業績について



2021年3月期の営業収益は、国内外での新型コロナウイルス感染症の流行による消費の冷え込みや、工場停止・遅延などの影響もあり、倉庫作業料・国際貨物取扱料などは落ち込んだものの、倉庫新設・拡張や輸配送ネットワークの強化により、前年度比で1,060百万円の増収（前年度比2.3%増）となりました。

2022年3月期については、新型コロナウイルス感染症の流行の収束の見通しは立たない中、新規施設の通期稼働や倉庫・輸配送ネットワークの更なる強化により前年度比増収を予定しており、1Qの業績も概ね計画通りで推移しております。

Q1. 新型コロナウイルスの業績への影響や、感染症への対策を教えてください。

A. 感染症への対策について



新型コロナウイルス感染症
対策本部設置
(2020年2月21日)



新型コロナウイルス感染症
対応策通知(2020年2月27日)

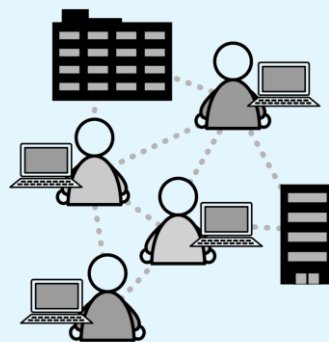
※ 以後、厚労省のガイドライン更新に応じて、随時更新



検温器・消毒液

パーテーション

感染防止策事例



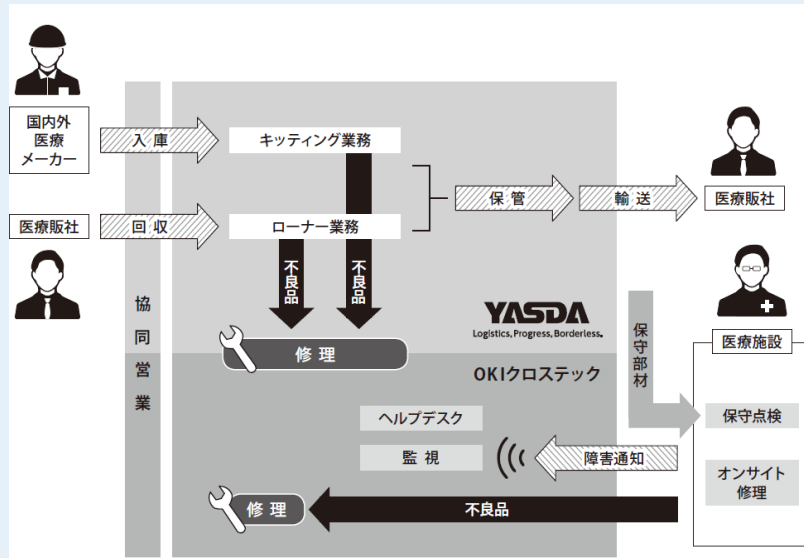
新VPN移行による
テレワーク環境の整備

当社では、2020年2月より新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、当社グループの職員の行動基準や衛生・健康管理、感染者発生時のBCP（事業継続計画）を定めた新型コロナウイルス感染症対応策を策定しております。

厚生労働省ガイドラインの「新しい生活様式」の周知徹底や、消毒液・パーテーションの設置、テレワーク環境に最適な新VPNへの移行による在宅勤務・会議のオンライン化の推進などの感染防止対策の徹底により、社会インフラとしての物流・不動産各事業を止めることなく、企業としての使命を果たしております。

Q2. 事業領域の拡大という点で、新分野への取り組みがあれば、教えてください。

A. 物流事業者として初の医療機器修理業許可取得 (修理区分 特管第1区分から特管第8区分まで)



2020年7月に東雲営業所において物流事業者として初めて医療機器修理業許可（修理区分 特管第1区分から特管第8区分まで）を取得し、OKIクロステック社との業務提携により、医療機器の検査・点検・検品・薬事ラベル添付業務、洗浄・廃棄、修理、コールセンター業務、オンライン遠隔監視サービス、AI予兆診断による故障予測適時保守などの高度なサポートサービスを提供します。

医療従事者の業務負荷軽減にも寄与し、災害やパンデミックなどの緊急時にも医療業務に集中できる環境整備を支援して参ります。

A. 医薬品製造業許可取得



2019年9月に九州営業所にて医薬品製造業許可を取得。輸入された医薬品原料など出荷判定前の貨物の保管サービスが可能となりました。GMP省令に適合した組織体制の構築や薬剤師の採用など、より高品質なメディカル物流サービスを提供いたします。

Q2. 事業領域の拡大という点で、新分野への取組みがあれば、教えてください。

A. 羽田営業所（仮称）開設に向けた倉庫用地取得



2021年9月30日に東京都大田区の土地を取得し、医療機器に関わる全ての業務が担えるメディカルロジスティクスセンターとして、2023年8月に「羽田営業所（仮称）」の開設を予定しております。

取得用地は東京モノレール昭和島駅に隣接し、羽田空港や東京湾岸地区へのアクセスに優れ、メディカル物流に最適な立地でございます。大井地区・平和島地区の当社拠点に至近の位置のため、近隣物流拠点との連携によるスケールメリットを活かした運営が可能であり、同拠点の開設によりメディカル物流サービスの更なる拡大を目指します。

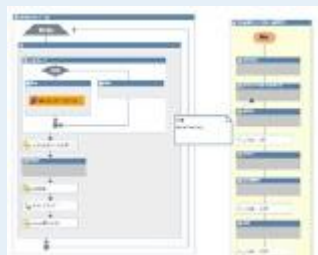
所在	東京都大田区昭和島二丁目11番地19
敷地面積	4,206㎡（1,272坪）
用途地域	工業専用地域
取得日	2021年9月30日

Q3.DXの活用状況について教えてください。

A. 主な取り組み事例



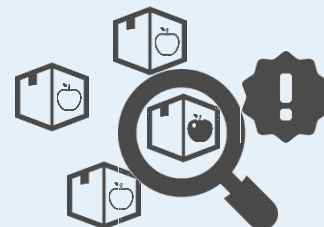
2021年2月に新設した「DX事業推進室」では、当社グループの物流サービスやビジネスモデルの変革・進化の促進を目的として、最先端テクノロジー・デジタル技術の活用に向けた検討や実証実験を実施し、効果の見込める技術・システムについては随時導入を進めております。



RPA（＝ロボティクス・プロセス・オートメーション）の活用によるPC上の定型作業の自動化を推進中



2021年7月より当社一部拠点にて、輸配送案件管理システム導入による配車オペレーションの省力化実現



AI画像解析技術を用いた検品業務自動化・省力化に向けて、顧客への提案活動を展開中

A. RFルーカス社との協業

YASUDA
Logistics, Progress, Borderless.



RFLOCUS

RFルーカス社のRFID（電子タグ）の位置情報特定特許技術の活用による新規物流サービスの構築に向け研究を重ねております。

Q4.どのようにコストを抑えていきますか？

A. コスト構造改革の推進

2020年より、経済環境によらず継続的に利益を生み出す“筋肉質な企業”になるためのプロジェクトとして「コスト構造改革」を始動し、当社グループ横断的な組織として「コスト構造改革委員会」のもと、仕事・プロセスの見直しによるコスト抑制を推進しております。

具体的には、ペーパーレス化推進や修繕工事の競争入札実施の徹底、新技術導入による生産性向上などにより2021年3月期は約3億円のコスト抑制効果がございました。

半年に一度、コスト抑制効果が大きく、かつ、他部署への横展開をすべき取組みを実施した個人・チームを表彰する「コスト構造改革表彰」を実施し、本プロジェクトの取組みの奨励と当社グループ内での共有を図っております。

今後も物流施設やDX、M&Aへの投資は積極的に行いつつ、本プロジェクトによるコスト抑制の取組みは継続して参ります。



コスト構造改革表彰事例

- ・データと伝票情報の照合作業のシステム化
- ・清掃業務における洗剤削減策による費用削減および環境負荷低減
- ・取扱港の変更によるドレージ費用削減
- ・新規包装試験機導入による外注試験の内製化
- ・車両のタイヤ・オイル交換、荷台修理、特殊車両通行許可書申請の内製化による外注費削減
- ・什器の見直しによるリース料削減

その他、ご不明な点やご質問がございましたら、
お問合せフォームよりお気軽にお問合せください。

<https://www.yasuda-soko.co.jp/inquiry/tabid/163/frmid/8/Default.aspx>

The screenshot shows the 'IR, 広報' (IR, Public Relations) section of the YASUDA website. At the top left is the YASUDA logo and the company name '安田倉庫株式会社' (Yasuda Soko Co., Ltd.) with the tagline 'Logistics, Progress, Borderless.'. On the top right, there are search and language options (JP, EN) and a navigation menu with items: '事業案内', '会社情報', 'IR情報', '採用情報', and 'お問合せ'. The main heading is 'IR、広報'. Below it, a note states: '当社の事業に関するご質問は、下記の電話番号又はお問い合わせフォームからお問い合わせください。' (For inquiries regarding our business, please contact us via the phone number or inquiry form below). A box contains the contact information: '業務部 TEL: 03-3452-7316 / FAX: 03-3453-9796'. Below this, a red asterisk indicates that the following fields are mandatory. The form consists of several input fields: '会社名' (Company Name) with a dropdown menu showing '(全角) 例: 安田倉庫株式会社'; '部署名' (Department Name) with a dropdown menu showing '(全角) 例: 物流部'; 'お名前' (Name) with a dropdown menu showing '(全角) 例: 安田 清次'; '年齢' (Age) with a text input field; and '職業' (Occupation) with a text input field. A 'PAGE TOP' button is located at the bottom right of the form area.

いま見える未来は、超えていける。

安田倉庫は、挑戦を続けます。

国境も、従来の物流の枠も超える、ボーダレスなロジスティクスカンパニーへと進化するために。

そして、お客様が思い描く事業と社会の新しいかたちを創造するために。



Logistics, Progress, Borderless.

YASDA

安田倉庫株式会社

当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。

将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。